

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	実習事前指導		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	405
担 当 教 員	阿守 勇介	実務経験と その関連資格	病院リハビリテーション科勤務 姉妹校にて健康づくり指導者養成校教員として勤務			
《授業科目における学習内容》						
現場実習に臨むために必要となる準備を学ぶ。また、実習を通じてより将来の働き方を明確にすると共に、現時点で自身に不足している知識・技術に気付く場となる。						
《成績評価の方法と基準》						
1、レポート70% 2、出席評価点:20% 3、平常点(授業態度・レポート):10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
実習内容に必要な知識を事前に復習しておくことが必要。また、身だしなみ・マナー等を事前に準備または復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
自身の将来に結び付くこととなる為、日常生活から改善することも努力する						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の目的・目標を理解できる		配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	現場実習の目的・目標・内容。過去の実習における事例より失敗しないための準備を考える			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習先情報収集の重要性を知る		配布資料	実習先が決定していれば事前に情報収集を行う
		各コマにおける授業予定	実習先情報収集を行い、各施設の概要を理解し、事前準備を考える			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習目標設定が理解できる		配布資料	事前に目標を考えておく
		各コマにおける授業予定	見学実習先の情報収集			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	個人調査書の記載方法が理解できる		配布資料	自身の長所・短所を理解しておく
		各コマにおける授業予定	実習先に提出する個人調査書の記入方法学び、特に各個人の自己PRの表現方法を学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	日誌の作成方法が理解できる		配布資料	見学実習時の振り返りを行う
		各コマにおける授業予定	実習日誌の記載法方法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習事前訪問について理解できる	配布資料	他の授業で学んだ電話対応方法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	電話の掛け方(アポイントメントについて)		
第 7 回	講義形式	授業を通じての到達目標	お礼状の書き方を理解できる	配布資料	便箋・封筒の準備
		各コマにおける授業予定	お礼状の作成方法を学ぶ		
第 8 回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習報告会	配布資料	発表のスライド作成
		各コマにおける授業予定	実習を通じて得た学びを発表する		